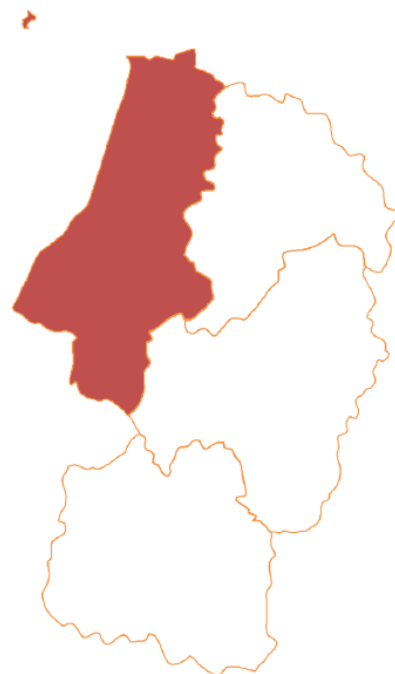


16 庄内地域の発展方向

※ 第4次山形県総合発展計画から抜粋

<地域特性>

- 県内で唯一、2つの10万人規模の都市が隣接する地域圏が形成されている。
- 日本海に面し、豊穡の庄内平野、本県唯一の離島飛島や秀麗な鳥海山などの豊かな風土に育まれた多様で多彩な地域資源を持つ。
- 出羽三山信仰や修験道にみられる精神文化、北前船交易による湊町文化や庄内藩が育んだ城下町文化、時代を超えて広く根付く「公益」の精神などが連綿と継承されている。
- 東北公益文科大学や山形大学農学部をはじめ、鶴岡工業高等専門学校や産業技術短期大学校庄内校等の多様な高等教育機関がコンパクトに立地している。
- 多彩な食材と歴史・風土が育んだ食文化を地域内外に発信する「食の都庄内」の取組みにより、「食」のブランド価値が大きく高まっている。
- 慶應義塾大学先端生命科学研究所を核として、世界をリードするバイオサイエンス関連産業の集積が加速している。
- 庄内空港と酒田港の2つの「港」を擁し、世界につながる「空」と「海」のゲートウェイ機能が集積している。



<発展方向（目指す姿）>

- 誰もが安心して暮らすことができ、誰もがいきいきと活躍できる地域コミュニティが形成されている。
- ものづくりから農業に至るまで、全ての産業分野にわたるイノベーションにより、地域経済が持続的に発展している。
- 先人が育んできた精神文化や食文化、豊かな自然環境などの強みを活かし、空と海の2つのゲートウェイを起点として「人」と「モノ」の交流がグローバルな規模で展開されている。

＜地域の発展に向けた主な取組み＞

(i) 「庄内」の人々の暮らしを支える活力あふれる地域コミュニティの形成

- オール庄内で「シビックプライド＝郷土への誇り」を醸成するための体験プログラムを展開するなど、若者の地元定着促進に向けた取組みを強化していく。
- 庄内で活躍する若者との協働による庄内地域の魅力・企業情報発信の強化等、ふるさと回帰促進のための取組みを加速していく。
- 若者や女性が活躍し、自己実現が可能となる環境づくりを進めるとともに、高齢者が経験・知恵を活かし生きがいを持って活躍できる地域づくりを推進していく。

(ii) 「庄内」の強みを活かした高い付加価値を創出する産業群の形成

- バイオサイエンスをはじめとする先端技術分野における産業集積を加速していくとともに、新たな価値を生み出すチャレンジやICTの活用等による生産性の向上、新たなマーケットの開拓など、全ての産業分野にわたるイノベーションを促進していく。
- 多彩な食材と料理人の技が創り出す「食の都庄内」のブランド価値をさらに磨き上げ、「食」を基軸とする多様な交流の拡大につなげていくための取組みを強化していく。
- 庄内空港や酒田港などのゲートウェイ機能を活用した「人」と「モノ」の交流拡大に向け、インバウンドや地域産品の輸出拡大、外航クルーズ船の誘致などの取組みを推進していく。

(iii) 「庄内」の交流・発展を支える社会基盤の形成

- 日本海沿岸東北自動車道の秋田・新潟両県境部未供用区間の早期整備とともに、地域高規格道路も含めた格子状ネットワークの早期実現に向け、隣県等と連携した活動を強化していく。
- 庄内空港、酒田港の利用拡大を推進するとともに、機能強化に向けたオール庄内による取組みを加速していく。
- 洋上を含めた風力発電の開発を通じた地域経済の活性化や、木質バイオマス等地域資源の活用によるエネルギーの地産地消を促進していく。